

平安時代末期の厳島神社の隆盛と神主佐伯景弘

■ 日 時 平成 26 年 2 月 12 日 (水) 14:00~15:30 (受付開始 13:30)

■ 会 場 はつかいち文化ホール さくらぴあ 小ホール

(廿日市市下平良一丁目 11-1, 廿日市市役所前電停から徒歩 10 分

TEL 0829-20-0111)

■ 講 師 県立広島大学 人間文化学部 教授 松井 輝昭

■ 内 容

厳島神社は平安時代末期になると、全国的に脚光を浴びるようになった。平清盛が当神社に厚い信仰を寄せ、多くの都人を誘ったことが大きな理由といえる。しかし、このような歴史の表舞台を誰が作り上げ、それを裏で支えたのかほとんど検討されていない。本講演では、当時の神主佐伯景弘に焦点を当てることで、厳島神社が隆盛に向かう道筋を裏側からたどることにしたいと思う。

■ 受講料：無料

■ 募集人数：200 人程度

■ 申込方法

往復はがきの往信裏面に①名前、②ふりがな、③郵便番号、④住所、⑤電話番号を、返信表面に受講される方の名前と住所をご記入の上、下の申込先に郵送してください。※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は、県立広島大学宮島学センターの公開講座・公開講演会等の事業以外の目的には使用しません。

■ 申込締切 平成 26 年 1 月 31 日(金)

■ 申込(問合)先

〒734-8558 広島市南区宇品東一丁目 1-71

県立広島大学宮島学センター

「宮島学センター公開講座③」係

TEL082-251-9550 (直通)

申込者多数の場合は抽選とします。予めご了承ください。

《往復はがきの例》

	郵便番号	①宮島 花子
宮島	広島市〇区◎町□番△号	②みやじま はなこ
花子		③郵便番号
様		④住所
		広島市◎町□番△号
		⑤電話番号

(返信 表面)

(往信 裏面)

■主 催：県立広島大学 宮島学センター/廿日市市教育委員会/廿日市市生涯学習推進本部